

7学年 理科課題

7年 組 番

〈双眼実体顕微鏡の使い方〉

◆ ア.プレパラート をつくる必要はなく、観察物をそのまま イ.20～40 倍程度で立体的に観察することができる。

① ウ.接眼レンズ を目の幅に合わせる。

左右の エ.接眼レンズ が自分の目の幅に合うように鏡筒を調節し、左右の視野が重なって1つに見えるようにする。

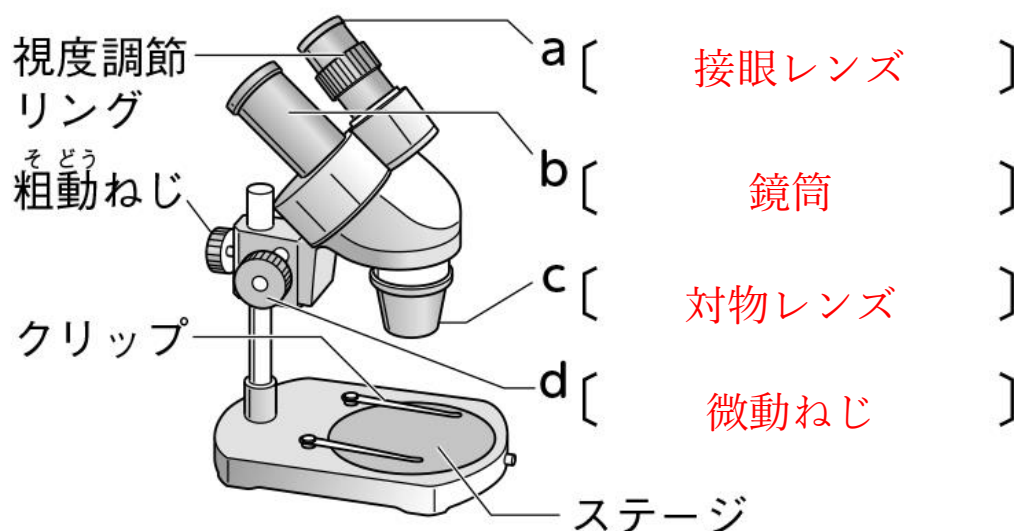
② ピントを合わせる。

鏡筒を支えながら オ.粗動ねじ をゆるめ、観察物の大きさに合わせて鏡筒を上下させて、カ.粗動ねじ を固定する。次に右目でのぞきながら、キ.微動ねじ を回して、ピントを合わせる。

③ ク.視度調節リング で調節する。

左目でのぞきながら、ケ.視度調節リング を回して、ピントを合わせる。

双眼実体顕微鏡



〈顕微鏡の使い方〉

◆プレパラートにした観察物を ア.40～600 倍程度で観察することができる。

① 視野を明るくする。

イ.対物レンズ をもっとも ウ.低 倍率のものにし、視野全体が明るく見えるように、反射鏡としぼりを調節する。

② 対物レンズとプレパラートを エ.近づける。

観察物が対物レンズの真下に来るように、プレパラートをステージにのせ、対物レンズとの間をできるだけ オ.近づける。

③ ピントを合わせる。

調節ねじを②のときと逆向きに（プレパラートと対物レンズを カ.離す 方向に）ゆっくり回して、ピントを合わせる。

④ 高倍率にしてくわしく観察する。

高倍率にするときは、③の後、レボルバーを回して高倍率の キ.対物レンズ にし、しぼりを調節して見やすい明るさにする。

ステージ上下式顕微鏡

